

# 『JST 地域事業 15 年史』 発刊に寄せて



文部科学省 科学技術・学術政策局長

合田 隆史

この度、平成8年度より開始された独立行政法人科学技術振興機構（JST）の地域事業が15年目を迎え、『JST 地域事業 15 年史』を刊行されましたことを心よりお慶び申し上げます。

世界の諸情勢が大きく変化している状況の中、資源に乏しい我が国が国際競争力を維持し、活力ある社会、経済を実現していくためには、地域が持つ多様性、独自性、独創性を活かして持続的にイノベーションを創出していくことは非常に重要です。JSTにおいては、JSTイノベーションプラザ/JSTイノベーションサテライト等を通じて、地域に根ざした産学連携の活性化、意識の向上に多大な貢献を果たしていただいております。

一方、地域における科学技術振興の取り組みは、現在、転換期を迎えております。文部科学省においても、第2期、第3期の科学技術基本計画等を踏まえ、平成14年度より地域の大学等を核としたクラスター形成事業を実施し、これまでも大きな成果を上げてまいりましたが、このような中で、平成22年6月に閣議決定された「新成長戦略」や、平成23年度から新たに取組が始まる第4期科学技術基本計画策定に向けた総合科学技術会議の答申等においても、改めて地域イノベーション創出の重要性が指摘され、これまでの成果や課題を踏まえた取り組みを進めていくことが求められております。文部科学省においては、現在、これらの方針を踏まえ、地域が主体的に策定する構想について、関係府省の施策を総動員して支援するシステムの構築に向けた取り組みを進めております。

JSTにおかれましても、このような転換期に、これまでJSTの地域事業が果たしてきた役割を振り返り、これまでに培った知見を活かして、新たな地域科学技術振興のあり方についてご検討いただき、今後ともより一層、地域の「知の拠点」である大学等を活用したイノベーションの創出に向けた取り組みが行えるよう努めていただきたいと思います。

今回、本刊を作成するに当たって、ご尽力されたJSTの役職員の皆様および関係各方面の方々に多大なる敬意を表するとともに、JSTが引き続き、我が国の科学技術の発展に貢献することを大いに期待しております。

(平成23年3月)